

週間感染症情報

2019年13-14週 2019年3月25日より2019年4月7日まで

13週 14週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		1
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	14	9
手足口病	5	4
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑	1	1
感染性胃腸炎	39	51
ロタウイルス(再掲)	1	1
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	1	4
伝染性膿痂疹(とびひ)	3	1
ヘルペス性口内炎		1
アデノウイルス感染症	1	2
RSウイルス感染症	1	
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		4
インフルエンザ(臨床診断含む)	19	13
インフルエンザA	18	12
インフルエンザB	1	1

遅くなりましたが、13週と14週の報告です。インフルエンザの報告数は、13週19例、14週13例とさらに減少しています。今週になり、さらに減少していますが、外国帰りのインフルエンザA、サッカークラブの遠征での集団感染例の報告があります。また、真備町の保育園ではインフルエンザBの小流行があります。

感染性胃腸炎の報告は多く、ノロウイルスと思われる症例がほとんどですが、ロタウイルス陽性例が1例ありました。ワクチン接種済みで軽症でした。焼き肉がらみの、カンピロバクター陽性例が3例、病原性大腸菌とカンピロバクター合併例が2例ありました。よく焼いて食べるように指導してください。

ヒトメタニューモウイルス抗原迅速診断陽性例が、4例ありました。総社市内の3か所の保育園です。ヒトメタニューモウイルスは、RSウイルスに似たウイルスで、症状は鼻汁・発熱・咳などで、症状も似ています。迅速診断キットがありますが、保険請求ができるのは6歳以下の肺炎診断例のみなので、全員に検査しているわけではありませんが、多くの園で陽性例が出ているので市内で流行しています。長引く「かぜ」の場合は疑う必要があります。小児だけでなく、大人にも感染します。免疫力の低下している高齢者では、肺炎などの原因となることがあります。

全国で麻疹(はしか)が流行しています。

**1歳になったらすぐにMR(麻しん・風しん)ワクチン接種を、
年長児は2回目の接種を忘れずにすぐに受けましょう。**

(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子

